

高粱知るふふれ ⑰



アナイス・ファルジア(高粱市国際交流員)

知るふふれ=「高粱を知る」+「シルブプレ」(フランス語で「どうぞ」)

日本語教室受講者募集

高粱市国際交流協議会では、市内在住の外国人を対象とした日本語教室の受講者を募集しています。

講座のレベルは、日常会話程度のやさしい日本語で、交流や日常生活の相談の場としても運営していきます。

- 開催場所・日時**
- ①高粱市図書館
5月以降 隔週日曜日 午前9時30分～(1時間程度)
 - ②成羽複合施設(たいこまるプラザ)
5月以降 隔週日曜日 午後2時～(1時間程度)
- ※詳細な日程などは参加の申込時にお伝えします。
- 募集定員** 各会場 15人程度
- 申し込み** 電話、または来庁して事務局へお申し込みください。



日本語教室の運営をサポートしていただける市民ボランティアも募集しています。
国際交流に興味がある人はぜひ参加してください!

高粱市国際交流協議会事務局(市役所3階秘書企画課) ☎21-0208



教室の様子



講師の土生裕さん(左)と受講者の皆さん

「のびっこクラブ」会員募集

高粱公民館では、0～4歳の子どもと保護者を対象とした乳幼児学級「のびっこクラブ」の会員を募集しています。

活動内容 バス遠足・ハロウィン運動会・クリスマス会など、親子で楽しめる活動を年間10回程度計画しています。

詳しくは高粱公民館へお問い合わせください。

高粱公民館 ☎21・0180

5月5日～11日は「児童福祉週間」です

毎年5月5日は「こどもの日」、5月11日までの1週間は「児童福祉週間」と定められています。

子どもたちの健やかな成長や家庭を取り巻く環境について私たちができることを、この機会に考えてみましょう。

こども未来課 ☎21・0288



グッド・トイひろば

「グッド・トイ」に認定されたおもちゃで楽しく遊びましょう。

日時 5月29日(土)

- ①午前10時30分～11時30分
- ②午後1時～2時
- ③午後2時30分～3時30分

場所 たいこまるプラザ

申し込み 5月7日(金)～28日(金)の間に、社会教育課へ電話で予約してください。先着順で、定員は各回4組(1組6人まで)です。

社会教育課 ☎21・1514

高粱音楽祭2021

メインフェスティバル

日時 5月16日(日)午後2時～

場所 高粱総合文化会館

出演 八代亜紀(特別ゲスト)、パーク・ジュニョン、東京ホテルソン(ゲスト)、ラグズ&ジェラ、ミニティアほか

入場料 S席7000円/A席6000円/C席5000円/有料配信3000円(全席指定)

高粱総合文化会館 ☎22・1040

「ジャパンレッド」発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋— ⑧

日本遺産に認定された「『ジャパンレッド』発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋—」のストーリーを構成する文化財を紹介しします。

西江家住宅主屋ほか 国登録有形文化財(建造物)

西江家は、江戸時代に天領(幕府領)の郡中惣代庄屋(天領の代官が支配する村々の庄屋の代表者)を務めた家柄で、邸内には郷蔵(年貢米の収納倉庫)・白州(罪人を取り調べる所)跡などの公的な役割を担った建物などが現存しています。

江戸時代中期頃からは、良質な硫化鉄鉱石を産出した本山鉱山の経営に参画し、緑礬・弁柄の製造に携わり財を成しました。赤褐色の瓦で葺かれた主屋や楼門・土蔵群を含む屋敷構えは、江戸時代中期から明治時代初期にかけて、石見国(現在の島根県西部)から大工と瓦職人を招請して整えられたといわれ、三段構えの石垣を含め、まるで城郭のような壮観な景観を呈しています。

平成15年には、主屋をはじめとする9棟が国の有形登録文化財(建造物)に登録されました。また、一昨年末に放映された金田一耕助が主人公となるテレビドラマ「悪魔の手毬歌」の撮影も行われ、話題となりました。



高粱市日本遺産推進協議会事務局(日本遺産・歴まち推進室) ☎21-0257



西江家住宅外観



西江家住宅内観・五周続き

協力隊がゆく ⑤

こんにちは、有漢町担当の西垣です。春ですね。僕にとって移住後はじめての春になります。都会で暮らしていた移住前と比べて自然との距離が近くなり、鳥のさえずりと草木の成長に季節の変化を感じるが増えました。

先日、高粱総合文化会館でNHK「のど自慢」が開催され、幸運にも本選で歌わせていただきました。曲目はコロナ禍を乗り越えようというメッセージと、のど自慢名物の鐘をかけて「あの鐘を鳴らすのはあなた」を選曲し、結果として鐘2つの不合格でしたが、最後に審査員特別賞をいただくことができました。でもやっぱり出るからには合格したかったですね。

さて、現在教育現場では、文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」の下、インターネットや通信機器などをもっと教育に活用するための整備が進められています。市内では2月に、小・中学校の全児童・生徒に1台ずつタブレットPCが配布されました。それに伴い、市の「ICT支援員」が市内の学校を



ICTを活用した授業風景

回っています。有漢町では、支援員さんに加えて僕もサポートで授業に入らせていただいています。

今はインターネット上で課題を提出・管理するツールや、ウェブ会議システムの基礎的な使い方を学ぶ段階ですが、子どもたちは興味津々で授業を楽しんでくれています。恐る恐る画面をタッチする子がいたら、早く次のボタンを押したくてたまらない子もいて、子どもたちの個性が見えるときは可愛らしく感じます。彼らを一度に見る学校の先生とはすごい仕事だなと感じています。

教育が変化する過渡期を現場で見させていただき、本当にありがとうございます。



西垣 陽平 隊員